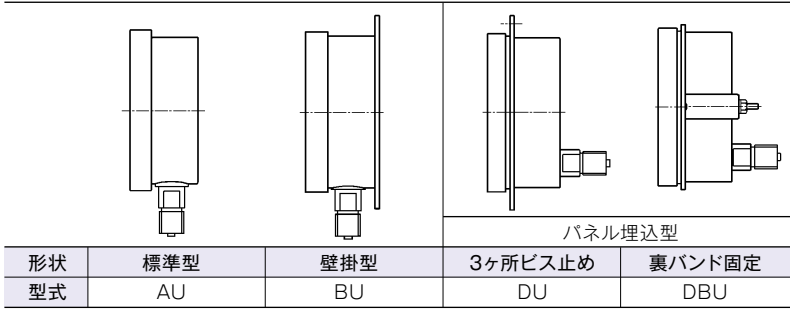
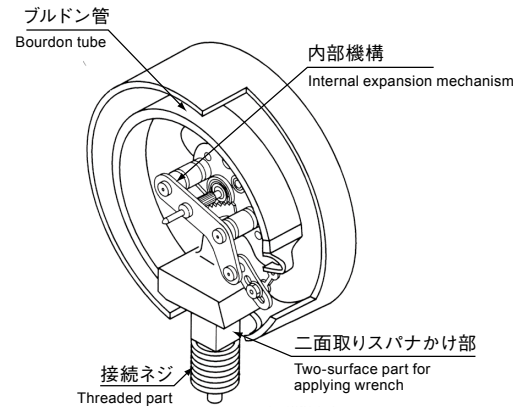


■ 基本形状と型式



■ 内部主要部品の名称



- 接液部材質とは株(元ネジ)とブルドン管の部分です。P.8 参照
- ケース材質 P.7 参照

■ 計器の大きささと精度区分

(文字板種類は P.5 は参照)

大きさ／等級精度	CL 1.6	CL 1.0	CL 0.6
60φ	○		
75φ	○		
100φ	○	○	
150φ	○	○	○

■ 精度等級の最大許容誤差

(単位%)

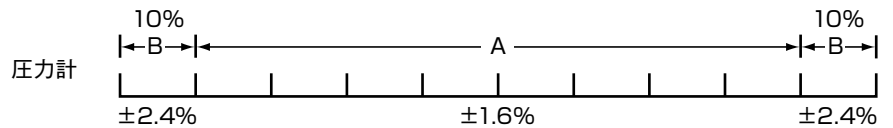
精度等級	最大許容誤差 (1)	
	目盛範囲A (2)	目盛範囲B (3)
0.6級	±0.6	±0.9
1.0級	±1.0	±1.5
1.6級	±1.6	±2.4

注(1) 最大許容誤差の値は、圧カスパンに対する百分率で表わします。

注(2) 目盛範囲 A は、圧カスパンの両端各 10%及び連成形のゼロ点の上下各 5%を除いた範囲です。

注(3) 目盛範囲 B は、圧カスパンの両端各 10%及び連成形のゼロ点の上下各 5%の範囲です。

- 右図は精度 1.6 級 (CL1.6) の目盛範囲の精度説明です。



■ 使用条件別 性能・型式・対策

性能	型式	使用条件	接液部材質	対策	掲載ページ
普通型	なし	一般的な条件で使用します。振動、脈動の有る場所、化学薬品及び腐蝕性、凝固性の流気体は不適当です。測定流気体の温度は最高60℃までです。	BSBM	接液部材質 SUS316、他	P.7~11
蒸気用	M	測定する蒸気温度が60℃以上になる場合は、サイホン管を必ず使用して、計器に高温が伝導しない様に放熱します。周囲温度は10~50℃までです。	SUS316	サイホン管	P.13,14
耐熱型	H	測定する流気体温度が60℃以上になる場合は、サイホン管を必ず使用して、計器に高温が伝導しない様に放熱します。周囲温度は80℃までです。	SUS316	サイホン管	P.13,14
耐振型	V	測定流気体に振動、脈動圧がある場所に使用します。荏原計器製圧力計は一部低圧型を除いて全機種、耐振型内部機構を組込んでいます。連続的な振動、脈動がある場合の対策は、 (イ) ダンプナーを組合わせて流気体の流れを絞る。 (ロ) ケース内に粘度の高いグリセリン液を充填する。	BSBM SUS316	ダンパー組込み	P.14
				グリセリン入り	P.10

(注) 耐熱耐振型は上記の組合せ型です。